



wakayama  
univ.

国立大学法人  
和歌山大学

# 和歌山大学概要

Outline of Wakayama University

2023

# 未来を切り拓く知の舞台 和歌山大学



# 和歌山大学概略

学長・副学長	8人 ※1	海外大学間協定数	58件 ※2
教員	303人 ※1	自治体間協定数	29件 ※3
職員	150人 ※1	収入・支出	7,492百万円 ※4
学部学生	3,939人 ※1	土地面積	500,864 m <sup>2</sup> ※1
大学院生	520人 ※1	建物面積	112,057 m <sup>2</sup> ※1
留学生	144人 ※1	蔵書数	698,840冊 ※5

※1 令和5年5月1日現在 ※2 令和5年10月1日現在 ※3 令和5年12月4日現在

※4 令和5年度当初予算 ※5 令和5年3月31日現在



## 和歌山大学 最新トピックス

社会のニーズを踏まえた新たな取組についてご紹介します。

### アントレプレナーシップデザインセンター



#### 産官学でスクラムを組み、起業家精神溢れる人材を育成

和歌山大学では、本学学生や将来的には県内高校生や社会人を対象として、起業家精神を養う「アントレプレナーシップ教育 (ES 教育)」の拠点になる「アントレプレナーシップデザインセンター (EDC)」を令和 5 年 4 月に新設しました。EDC が担う ES 教育は、法人設立を伴う事業化支援に特化せず、「新しいことに挑戦し続け、自ら成長し続けられる人材」の育成を大きな目的としています。こうしたマインドやスタンス醸成を重視した ES 教育の具体的な取り組みとして、全学生への必修化 (一部の講義)、起業を進路選択のひとつとするキャリア教育との連動など、本学の教育課程に ES 教育を体系的・明示的に位置付けています。また、主体的に起業活動を進める学生等を対象として企業参加型のモノづくり教育を実践する「オープンラボ」や、学生と企業が連携した新規事業立案に向けた実践的な問題解決学習「オープンゼミ」等を実施し、より多くの「アントレプレナーシップ人材」の育成・輩出を目指しています。

### 社会インフォマティクス学環



#### 文理融合型の先進的な学びで、未来を切り拓く、創る

「社会インフォマティクス学環」は、データサイエンスや情報技術をもとに、経済・産業などの社会問題を把握・分析し、実践することで社会を変革できる人材を育成します。文理融合型の教育課程で、少人数によるきめ細かな教育により、経済学、経営学、観光学、工学を段階的かつ複合的に学び、それらの知識や技能を基盤として、自治体や企業等と連携して社会的な活動から生まれる実データを用いた実践的な学びを展開します。それにより、社会における多様な知識に裏打ちされた確かなデータ活用実践力を身につけます。

### 観光地域マネジメント専攻 (専門職大学院)



#### 明るい未来をひらく、観光地域共創人材を養成

これまで培ってきた観光学の教育研究の叡智を結集し、新たな時代の観光地域マネジメントを先導できる高度専門職業人を養成すべく、観光地域マネジメント専攻 (専門職大学院) を設置しました。観光地域の多様なステークホルダーと連携をとり、地域の価値を高め、「稼ぐ力」を向上させるとともに、観光を基軸とした持続可能な地域への変革をリードできる人材を「観光地域共創人材」と定義し、地域価値の創造実現能力、地域社会との協働的關係性構築能力、データ分析に基づいた戦略的意思決定能力という 3 つの能力を身につけた人材として育成します。

# アクションプラン

本学は、第4期中期目標中期計画（令和4～9年度）において、「社会のニーズを踏まえた機能強化に資する重点的取組事項（アクションプラン）を毎年度設定し、改革を進める。」こととしており、以下の改革の方向性に基づき、重点的取組を推進していきます。

## 第4期中期目標期間における改革の方向性

### （1）地域社会及び国際社会との連携・共創

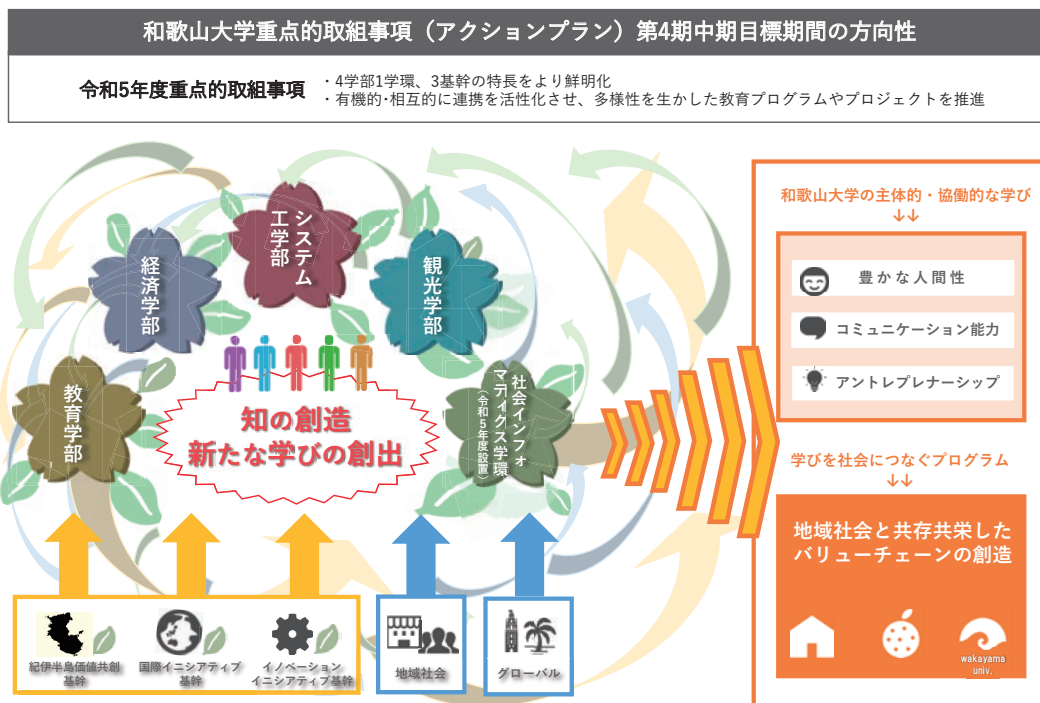
4学部1学環が連携し強固な基盤を形成するとともに、「紀伊半島価値共創基幹」、「国際イニシアティブ基幹」及び「イノベーションイニシアティブ基幹」の3基幹とも一体となり、本学の強みを生かした地域課題解決のための地域社会との連携・共創、地域イノベーションの創出、海外諸大学・機関との教育連携による国際化に取り組みます。

### （2）学生の新しい学び・主体的で協働的な学びの提供

4学部1学環及び3基幹の教員の叡智を融合し、新しい学びを創出するとともに、学生がその新しい学びに主体的・協働的に取り組みます。そのために必要となる学生の「豊かな人間性」、「コミュニケーション能力」及び「アントレプレナーシップ」の育成に取り組みます。「地域社会と共存共栄したバリューチェーンの創造」を目指し、教職員と共に学びの成果を地域社会に広げ、地域社会に教育研究成果を普及・還元していきます。

## 令和5年度重点的取組事項（アクションプラン）

令和5年度は、上記方向性に基づき、4学部1学環と3基幹の特長をより鮮明にし、各部署等が有機的・相互的に連携を活性化させていきます。そして、多様性を生かした教育プログラムやプロジェクトを推進することで、本学が有する強み・特色を更に伸ばすことを目指します。



（参考）和歌山大学の基本理念及び重点的な行動指針

URL [https://www.wakayama-u.ac.jp/about/president/kihon\\_rinen\\_kodo\\_shishin.html](https://www.wakayama-u.ac.jp/about/president/kihon_rinen_kodo_shishin.html)

# 和歌山大学を数字で見る

## 学部

**4** 学部 **3** 学科 **1** 課程

- 教育学部 学校教育教員養成課程
- 経済学部 経済学科
- システム工学部 システム工学科
- 観光学部 観光学科

## 学部等関係課程 実施基本組織

**1** 学環

- 社会インフォマ  
ティクス学環

## 大学院

**4** 研究科

- 教育学研究科
- 経済学研究科
- システム工学  
研究科
- 観光学研究科

## 教職員数

(令和5年5月1日現在)

**461** 人 学長・副学長 **8** 人 教員 **303** 人 職員 **150** 人

## 学部学生数

(令和5年5月1日現在)

**3,939** 人

## 大学院学生数

(令和5年5月1日現在)

**520** 人

## 海外留学・派遣学生数

(令和4年度)

**4** 人

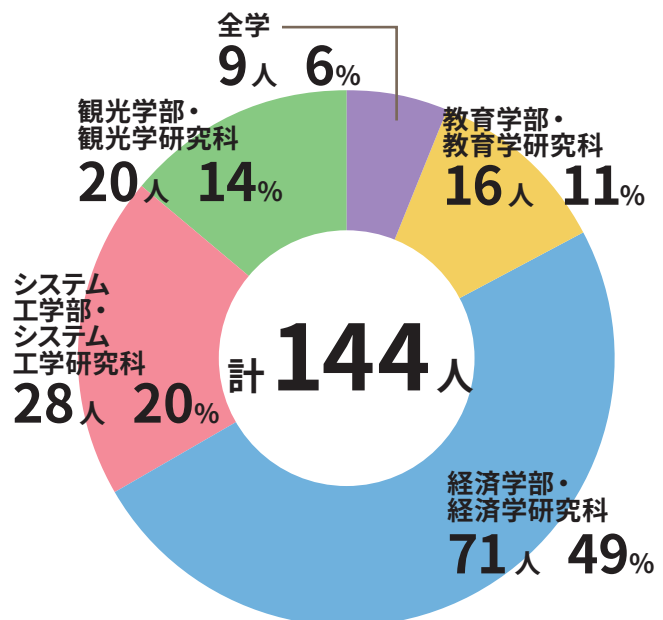
(新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、多数の留学・研修等が延期または中止となった。)

## 外国人留学生数

(令和5年5月1日現在)

**144** 人

### 留学生数内訳 (所属別)

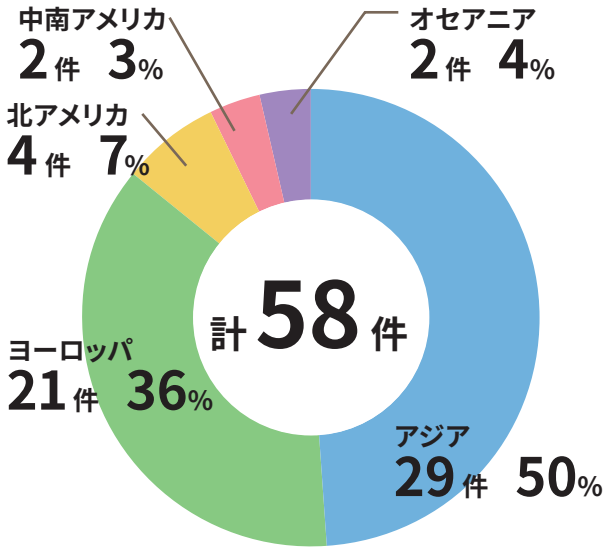


## 国際交流状況

(令和5年10月1日現在)

海外大学間協定数 **58** 件

### 協定数内訳 (地域別)



## 予算規模

(令和5年度)

### 収入・支出

**7,492** 百万円

## 土地・建物面積

(令和5年5月1日現在)

土地面積 **500,864** m<sup>2</sup>  
(その他借地 371 m<sup>2</sup>)

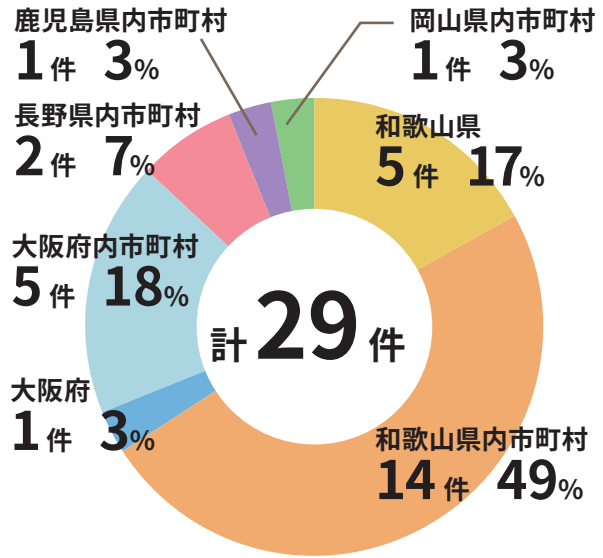
建物面積 **112,057** m<sup>2</sup>

## 地域連携状況

(令和5年12月4日現在)

自治体間協定数 **29** 件

### 協定数内訳 (自治体別)



## 学術情報センター (図書館)

### 図書冊数 (令和5年3月31日現在)

**698,840** 冊

和書 **500,170** 冊  
洋書 **198,670** 冊

### 入館者数 (令和4年度)

**188,647** 人

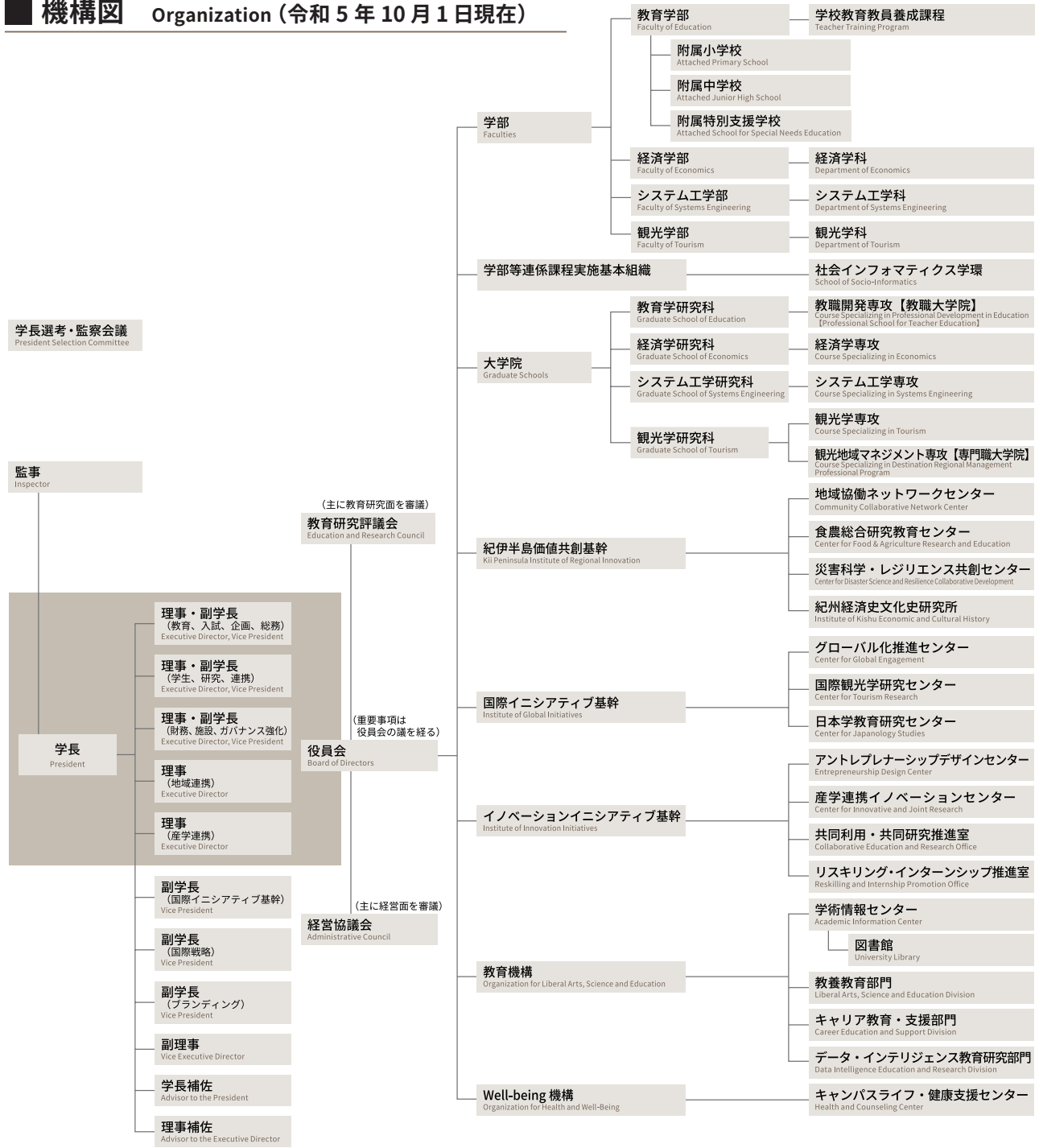
# 目次

未来を切り拓く知の舞台	1
概略	2
和歌山大学 最新トピックス	3
アクションプラン	4
和歌山大学を数字で見る	5～6
目次	7
<b>1. 教育・研究組織</b>	
・機構図	8
・沿革、歴代学長	9～11
・学部・学環・大学院	12
<b>2. 教職員数</b>	
・教職員数(常勤教職員数)	13
・外国人教職員数	14
・教職員の年代内訳	14
<b>3. 学生の受入・進路状況</b>	
・令和5年度入学志願者数及び入学者数	15
・一般選抜による学部入学者数(地域)	15
・一般選抜による志願・入学者数(地域・府県別)	16
・学生数(現員)	17～18
・専任教員1人あたりの学生数	17
・教育学部附属学校の定員・児童生徒数	18
・卒業者・修了者数	19
・令和4年度 進路状況	20～21
<b>4. 国際交流・地域連携</b>	
・学部別留学生数	22
・国別留学生数	22
・短期留学推進制度による派遣留学生数	23
・交流協定大学	23～24
・自治体との連携協定	25
<b>5. キャンパス・教育研究施設</b>	
・キャンパスマップ	26～27
・体育施設	28
・課外活動施設	28
・休息のとれる施設など	28
・土地・建物	29
<b>6. 授業料・入学料等</b>	
・授業料・入学料・検定料	30
・学生寮、下宿等の費用	30
<b>7. 学生の修学及び生活支援</b>	
・授業料免除	30
・奨学金	30
・教育サポートシステム	31
・図書館	31
・キャリア教育・就職支援体制	32
・障害学生支援	32
・各種支援窓口	32
<b>8. 財政</b>	
・令和4年度貸借対照表	33
・令和4年度損益計算書	33
・令和4年度キャッシュ・フロー計算書	33
・令和4年度外部資金受入状況	33
部局等所在地	34



# 1. 教育・研究組織

## 機構図 Organization (令和5年10月1日現在)



**<推進本部>**

- 教学入試戦略推進本部 (Headquarters for Quality Assurance in Higher Learning)
- ダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン推進本部 (Headquarters for Diversity, Equity, and Inclusion)

**<運営支援組織>**

危機管理室 (Crisis Management Office)	男女共同参画推進室 (Office of Diversity and Inclusion)
戦略情報室 (Institutional Research Office)	広報室 (Public Relations Office)
教学マネジメント室 (Quality Assurance Office)	基金室 (Fundraising Office)
アドミッション室 (Admissions Office)	COC+推進室 (Center for Community Engagement)
インクルージョン支援推進室 (Inclusion Support Office)	次世代教育推進室 (Headquarters for future generation education)

**<事務局>**

企画課 (Planning Division)	入試課 (Admissions Division)
総務課 (General Affairs Division)	学生支援課 (Student Support Services Division)
財務課 (Finance Division)	国際交流課 (International Engagement Division)
施設整備課 (Property and Facilities Division)	学術情報課 (Academic Information Division)
研究・社会連携課 (Research and Community Engagement Division)	監査室 (Audit Office)
学務課 (Teaching and Learning Division)	基金事務室 (Fundraising Office)

1875	明治 8 年 5 月	教育学部の前身となる和歌山県師範学校が設立される	
1922	大正 11 年 10 月	経済学部の前身となる和歌山高等商業学校が設立される	
1949	昭和 24 年 5 月	国立学校設置法(昭和 24 年法律第 150 号)により、和歌山師範学校、和歌山青年師範学校、和歌山経済専門学校を包括して、学芸学部、経済学部の 2 学部を設置	
1951	昭和 26 年 4 月	附属小学校及び附属中学校を設置	
1954	昭和 29 年 4 月	経済学部に商業教員養成課程を設置 [平成 12 年 3 月廃止] 経済短期大学部を併設 [平成 8 年 9 月廃止]	
1956	昭和 31 年	学芸学部中学(2年)課程を廃止	
1957	昭和 32 年 4 月	経済学専攻科経理経営専攻を設置 [昭和 41 年 3 月廃止]	
1960	昭和 35 年	学芸学部小学(2年)課程を廃止	
1963	昭和 38 年	学芸学部文理課程を廃止	
1964	昭和 39 年 4 月	経済学部に経済学科及び経営学科 [平成 11 年 3 月廃止] を設置	
1965	昭和 40 年 4 月	学芸学部小学校教員養成課程 [平成 19 年 3 月廃止] 及び 中学校教員養成課程を設置 [平成 17 年 3 月廃止] 経済学部に産業工業科を設置 [平成 12 年 3 月廃止]	
1966	昭和 41 年 4 月	学芸学部を教育学部に名称変更 教育学部に特別教科(理科)教員養成課程を設置 [平成元年3月廃止] 大学院経済学研究科修士課程理論経済学経済史専攻を設置 [昭和 45 年 3 月廃止]	
1967	昭和 42 年 4 月	教育学部に養護学校教員養成課程を設置 [平成 17 年9月廃止]	
1968	昭和 43 年 4 月	大学院経済学研究科修士課程に経済学専攻及び経営学専攻を設置 [経済学専攻は令和 3 年度から募集停止]	
1970	昭和 45 年 4 月	経済学専攻科・産業工学専攻を設置 [平成 11 年3月廃止]	
1976	昭和 51 年 4 月	附属養護学校を設置 [平成 19 年 4 月附属特別支援学校に名称変更]	
1985	昭和 60 年 9 月	教育学部 栄谷キャンパスに移転	
1987	昭和 62 年 9 月	経済学部 栄谷キャンパスに移転	

1989	平成元年4月	教育学部に文化社会課程 [平成15年3月廃止] 及び生産科学課程を設置 [平成15年3月廃止]	
1992	平成4年10月	経済学部に昼間主コース・夜間主コース [平成19年度から募集停止] を設置 経済学部にビジネスマネジメント学科 (経営学科を改組) [平成28年度から募集停止] 及び社会システム設計学科 [平成14年9月廃止] を設置	
1993	平成5年4月	大学院教育学研究科修士課程学校教育専攻 [令和2年度から募集停止] 及び教科教育専攻 [平成30年3月廃止] を設置	
1994	平成6年4月	教育学部に臨時教員養成課程 (1年課程) 発達障害教育教員養成課程を設置 [平成9年3月廃止]	
1995	平成7年10月	システム工学部 (情報通信システム学科、光メカトロニクス学科、精密物質学科、環境システム学科、デザイン情報学科) を設置 [情報通信システム学科、光メカトロニクス学科、精密物質学科、環境システム学科、デザイン情報学科は平成27年度から募集停止]	
1996	平成8年4月	教育学部に総合科学課程を設置 [平成15年3月廃止] 経済学部に市場環境学科を設置 [平成28年度から募集停止]	
1997	平成9年4月	特殊教育特別専攻科・発達障害教育専攻を設置 [平成19年4月特別支援教育特別専攻科に名称変更、平成31年3月廃止]	
1999	平成11年4月	教育学部に学校教育教員養成課程、国際文化課程、自然環境教育課程、生涯学習課程を設置 [国際文化課程、自然環境教育課程、生涯学習課程は平成20年度から募集停止] 大学院経済学研究科に市場環境学専攻を設置 [令和3年度から募集停止]	
2000	平成12年4月	大学院システム工学研究科修士課程システム工学専攻を設置	
2002	平成14年4月	大学院システム工学研究科博士課程システム工学専攻を設置	
2004	平成16年4月	国立大学法人化	
2007	平成19年4月	経済学部に観光学科を設置 [平成20年度から募集停止]	
2008	平成20年4月	観光学部 (観光経営学科、地域再生学科) を設置 [観光経営学科、地域再生学科は平成28年度から募集停止] 教育学部を改組し、学校教育教員養成課程教育科学コース、教科教育コース、児童教育コース] と総合教育課程 [文化研究プログラム、環境教育プログラム] の二課程とする [総合教育課程は平成28年度から募集停止]	
2011	平成23年4月	大学院観光学研究科修士課程観光学専攻を設置	
2014	平成26年4月	大学院観光学研究科博士課程観光学専攻を設置	
2015	平成27年4月	システム工学部を改組し、システム工学科の一学科とする	
2016	平成28年4月	経済学部を改組し、経済学科の一学科とする 観光学部を改組し、観光学科の一学科とする 大学院教育学研究科教職開発専攻 (教職大学院) を設置	
2020	令和2年4月	大学院教育学研究科教職開発専攻 (教職大学院) の1専攻とする	
2021	令和3年4月	経済学研究科を改組し、経済学専攻の一専攻とする	
2023	令和5年4月	社会インフォマティクス学環 (学部等連係課程実施基本組織) を設置 観光学研究科観光地域マネジメント専攻 (専門職大学院) を設置	

## ■ 歴代学長 Presidents

	氏名	就任期間
1	糸魚川 祐三郎	1949.5.31 ~ 1955.3.30
2	岩崎 真澄	1955.3.31 ~ 1961.3.30
3	後藤 清	1961.3.31 ~ 1964.3.30
4	齋藤 利三郎	1964.3.31 ~ 1969.4.21
5	廣橋 次郎	1969.4.22 ~ 1972.4.21
6	香山 時彦	1972.4.22 ~ 1975.4.21
7	角山 榮	1975.4.22 ~ 1975.7.31
8	神野 璋一郎	1975.8.1 ~ 1978.7.31
9	筒井 信定	1978.8.1 ~ 1981.7.31
10	池田 芳次	1981.8.1 ~ 1987.7.31
11	小野 朝男	1987.8.1 ~ 1993.7.31
12	浅野 徹	1993.8.1 ~ 1996.7.31
13	守屋 駿二	1996.8.1 ~ 2002.7.31
14	小田 章 	2002.8.1 ~ 2009.7.31
15	山本 健慈 	2009.8.1 ~ 2015.3.31
16	瀧 寛和 	2015.4.1 ~ 2019.3.31
17	伊東 千尋 	2019.4.1 ~ 2023.3.31
18	本山 貢 	2023.4.1 ~

○学部 Faculties

学部	学科	コース・メジャー
教育学部 Faculty of Education	学校教育教員養成課程 Teacher Training Program	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校教育コース Elementary and Secondary Education</li> <li>支援教育コース Special and Inclusive Education</li> </ul>
経済学部 Faculty of Economics	経済学科 Department of Economics	<ul style="list-style-type: none"> <li>グローバル・ビジネス&amp;エコノミー Global Business &amp; Economy</li> <li>ビジネスデザイン Business Design</li> <li>企業会計・税法 Business Accounting and Tax Law</li> <li>地域公共政策・公益事業 Regional Public Policies and Public Utilities</li> <li>サステイナブル・エコノミー Sustainable Economy</li> </ul>
システム工学部 Faculty of Systems Engineering	システム工学科 Department of Systems Engineering	<ul style="list-style-type: none"> <li>ロボティクスメジャー Robotics Major</li> <li>電子物理工学メジャー Electronics and Applied Physics Major</li> <li>化学メジャー Chemistry Major</li> <li>環境科学メジャー Environmental Science Major</li> <li>建築・ランドスケープメジャー Architecture and Landscape Major</li> <li>情報システムデザインメジャー Information Systems Design Major</li> <li>ネットワークコンピューティングメジャー Network Computing Major</li> <li>クロスリアリティ・情報デザインメジャー Extended Reality / Information Design Major</li> </ul>
観光学部 Faculty of Tourism	観光学科 Department of Tourism	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光経営コース Tourism Management</li> <li>地域再生コース Regional Revitalization</li> <li>観光文化コース Tourism &amp; Culture</li> </ul>

○学部等関係課程実施基本組織

社会インフォマティクス学環 School of Socio-Informatics
---

○大学院 Graduate Schools

研究科	課程・専攻
教育学研究科 Graduate School of Education	専門職学位課程 Professional Degree Programs ・教職開発専攻 Course Specializing in Professional Development in Education
経済学研究科 Graduate School of Economics	修士課程 Master's Degree Programs ・経済学専攻 Course Specializing in Economics
システム工学研究科 Graduate School of Systems Engineering	博士前期課程 Master's Degree Programs ・システム工学専攻 Course Specializing in Systems Engineering 博士後期課程 Doctoral Degree Programs ・システム工学専攻 Course Specializing in Systems Engineering
観光学研究科 Graduate School of Tourism	博士前期課程 Master's Degree Programs ・観光学専攻 Course Specializing in Tourism 博士後期課程 Doctoral Degree Programs ・観光学専攻 Course Specializing in Tourism 専門職学位課程 Professional Degree Programs ・観光地域マネジメント専攻 Course Specializing in Destination Regional Management Professional Program

# 教職員数

## 教職員数(常勤教職員数) 令和5年5月1日現在

区分	学長		副学長		教授		准教授		講師		助教		助手		附属 学校 教諭		事務職員・ 技術 職員等		計		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
学長・副学長	1		6	1															7	1	8	
学部・ 学部等 関係課程 実施基本 組織・ 大学院	教育学部				25	7	7	12	2									1	34	20	54	
	経済学部				13	3	12	4	1	1		1						1	26	10	36	
	システム 工学部				30	3	22	1	3		5	1							60	5	65	
	観光学部				7	5	5	1	1		2	1							15	7	22	
	社会 インフォマ ティクス学環				3*														3		3	
	教育学研究科 専門職課程					9	1	1	2											10	3	13
	観光学研究科 専門職課程					2			1											2	1	3
附属小学校															15	10			15	10	25	
附属中学校															16	7			16	7	23	
附属特別 支援学校															10	21			10	21	31	
紀伊半島価値共創基幹					3	1	1		1			1							5	2	7	
国際イニシアティブ基幹					1	1	2			1		1							3	3	6	
イノベーション イニシアティブ基幹							2				1								3		3	
教育機構					2	1		2	5		1								8	3	11	
Well-being 機構					1			1									1	1	2	2	4	
推進本部																						
運営支援組織					1														1		1	
事務局																	84	62	84	62	146	
計・合計	1		6	1	97	22	52	24	13	2	9	5			41	38	85	65	304	157		
合計	1		7		119		76		15		14				79		150				461	

## 外国人教職員数 令和5年5月1日現在

区分	学長		副学長		教授		准教授		講師		助教		助手		附属 学校 教諭		事務職員・ 技術 職員等		計		合計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
外国の国籍を有する 本務教職員			1		1		3		1	1									6	1	7

## 教職員の年代内訳 令和5年5月1日現在

区分	学長		副学長		教授		准教授		講師		助教		助手		附属 学校 教諭		事務職員・ 技術 職員等		計		合計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
～34歳									2	1	4				14	16	13	13	33	30	63
35～44歳					2		18	7	6	1	1	1			19	7	17	19	63	35	98
45～54歳			1		31	7	22	15	3		3	3			7	14	32	27	99	66	165
55～64歳	1		5	1	63	15	12	2	2		1	1			1	1	21	6	106	26	132
65歳以上					1												2		3		3
計	1		6	1	97	22	52	24	13	2	9	5			41	38	85	65	304	157	461

### 【教職員数（常勤教職員数）に関する注釈】

※各学部及び各附属組織担当の事務系職員の所属は事務局とする。

※事務局には企画課、総務課、財務課、施設整備課、研究・社会連携課、学務課、入試課、学生支援課、学術情報課、国際交流課、監査室、基金事務室を含む。

※外国留学中及びサバティカル期間中の者並びに休職者は含むが、名誉教授は含まない。

★連係協力学部等である経済学部、観光学部、システム工学部等から連係教員として12名が参画。

# 学生の受入・進路状況

## 令和5年度入学志願者数及び入学者数

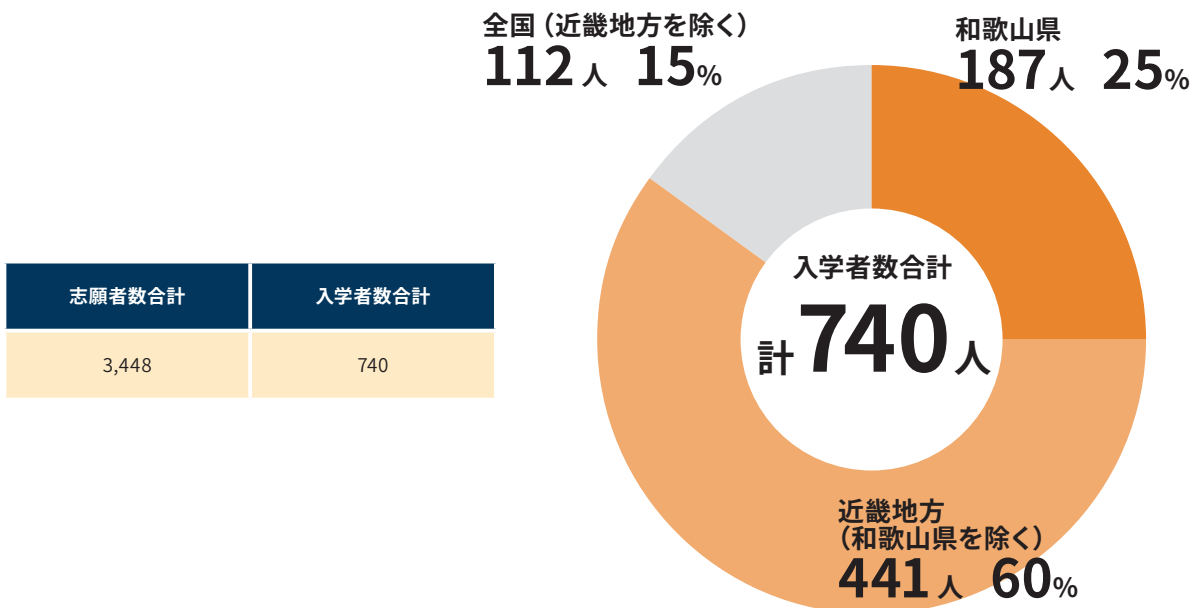
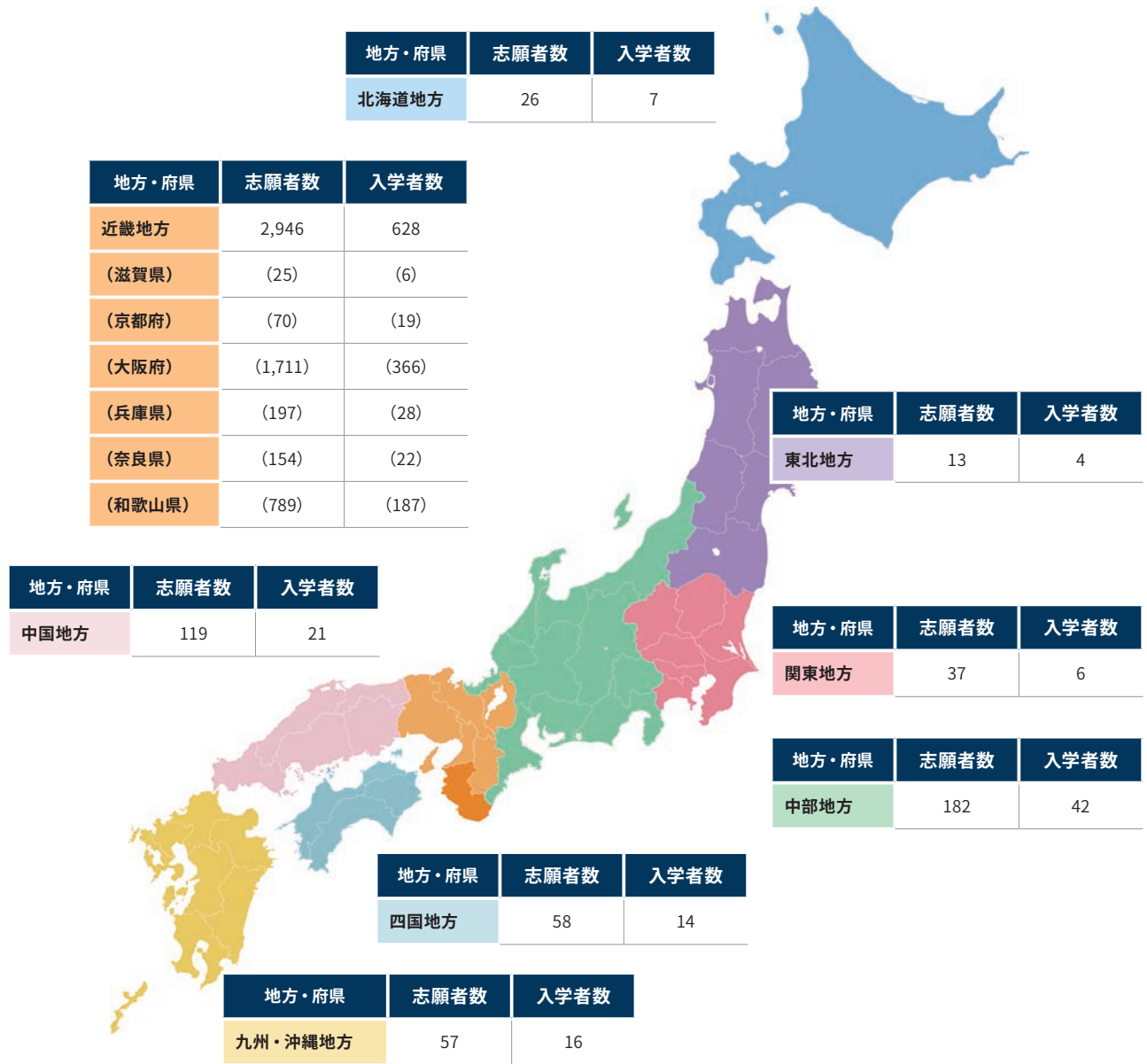
区分		入学定員	志願者数	受験者数	入学者数	
学部・学環	教育学部	165	550	368	169	
	経済学部	290	1,715	1,071	303	
	システム工学部	290	1,265	827	302	
	観光学部	115	331	291	119	
	社会インフォマティクス学環	30	148	133	41	
	計	890	4,009	2,690	934	
3年次編入学	経済学部	10	43	42	9	
	システム工学部	20	78	65	9	
	計	30	121	107	18	
大学院	教育学研究科	専門職学位課程	30	31	31	30
	経済学研究科	修士課程	38	83	76	33
	システム工学研究科	博士前期課程	129	176	173	152
	システム工学研究科	博士後期課程	8	7	6	6
	観光学研究科	博士前期課程	6	21	18	7
	観光学研究科	博士後期課程	6	9	9	6
	観光学研究科	専門職学位課程	10	15	14	10
	計		227	342	327	244

## 一般選抜による学部入学者数(地域) 令和5年度

地方・府県	教育学部	経済学部	システム工学部	観光学部	社会インフォマティクス学環	計
北海道地方	1	3	2	1		7
東北地方	1			2	1	4
関東地方		2	1	2	1	6
中部地方	10	22	6	3	1	42
近畿地方	97	217	251	37	26	628
中国地方	4	6	4	5	2	21
四国地方	5	3		6		14
九州・沖縄地方	1	5	5	5		16
その他		2				2
合計	119	260	269	61	31	740



一般選抜による志願・入学者数(地域・府県別) 令和5年度



## ■ 学生数 (現員)

○学部・学環 令和5年5月1日現在

区分		1年次			2年次			3年次			4年次			合計			
		定員	男	女	定員	男	女	定員	男	女	定員	男	女	定員	男	女	計
教育学部	学校教育 教員養成 課程	165	87	82	165	83	87	165	99	71	165	121	71	660	390	311	701
	計	165	87	82	165	83	87	165	99	71	165	121	71	660	390	311	701
経済学部	経済学科	290	193 (1)	110 (1)	300	198	116 (1)	310	210 (2)	104 (1)	310	264 (4)	110 (8)	1,210	865 (7)	440 (11)	1,305 (18)
	ビジネス マネジメント 学科										1			1		1	
	市場環境 学科										1			1		1	
	計	290	193 (1)	110 (1)	300	198	116 (1)	310	210 (2)	104 (1)	310	266 (4)	110 (8)	1,210	867 (7)	440 (11)	1,307 (18)
システム 工学部	システム 工学科	290	252	51 (1)	305	248 (3)	54	325	288 (2)	50 (1)	325	349 (6)	59 (1)	1,245	1,137 (11)	214 (3)	1,351 (14)
	計	290	252	51 (1)	305	248 (3)	54	325	288 (2)	50 (1)	325	349 (6)	59 (1)	1,245	1,137 (11)	214 (3)	1,351 (14)
観光学部	観光 経営学科										1	1		1	1	2	
	観光学科	115	32	87 (1)	120	43 (2)	82 (1)	120	49 (1)	81 (1)	120	52 (1)	111	475	176 (4)	361 (3)	537 (7)
	計	115	32	87 (1)	120	43 (2)	82 (1)	120	49 (1)	81 (1)	120	53 (1)	112	475	177 (4)	362 (3)	539 (7)
社会 インフォマ ティクス 学環	—	30	28	13										30	28	13	41
	計	30	28	13										30	28	13	41
合計		890	592 (1)	343 (3)	890	572 (5)	339 (2)	920	646 (5)	306 (3)	920	789 (11)	352 (9)	3,620	2,599 (22)	1,340 (17)	3,939 (39)

( ) 内は、外国人留学生(正規留学生)数を内数で示す。

経済学部・システム工学部の3年次及び4年次には編入学を含む。

○専任教員1人あたりの学生数 令和5年5月1日現在

学部・学環	学生数	専任教員数	専任教員1人あたりの学生数
教育学部	701	53	13.2
経済学部	1,307	35	37.3
システム工学部	1,351	65	20.8
観光学部	539	22	24.5
社会インフォマティクス学環	41	3	13.7
全体	3,939	224	17.6

※教育学部については附属小・中・特別支援学校を除いた教員数。

※大学院所属の教員は含めない。

○大学院 令和5年5月1日現在

研究科	専攻	課程	1年次			2年次			3年次			合計			
			定員	男	女	定員	男	女	定員	男	女	定員	男	女	計
教育学研究科	教職開発専攻	専門職	30	21	9	30	14	8				60	35	17	52
	計		30	21	9	30	14	8				60	35	17	52
経済学研究科	経済学専攻	修士	38	19 (12)	14 (9)	38	22 (13)	21 (15)				76	41 (25)	35 (24)	76 (46)
	経営学専攻	修士						1 (1)						1 (1)	1 (1)
	市場環境学専攻	修士					3					3			3
	計		38	19 (12)	14 (9)	38	25 (13)	22 (16)				76	44 (25)	36 (25)	80 (50)
システム工学研究科	システム工学専攻	博士前期	129	133 (2)	19 (1)	129	140 (2)	12 (2)				258	273 (4)	31 (3)	304 (7)
		博士後期	8	5 (1)	1	8	4 (1)		8	8 (1)	2	24	17 (3)	3	20 (3)
	計	137	138 (3)	20 (1)	137	144 (3)	12 (2)	8	8 (1)	2	282	290 (7)	34 (3)	324 (10)	
観光学研究科	観光学専攻	博士前期	7	3 (2)	5 (2)	14	7 (2)	7 (3)				21	10 (4)	12 (5)	22 (9)
		博士後期	6	4	3 (2)	6	5 (1)	3 (1)	6	7	10	18	16 (1)	16 (3)	32 (4)
	観光地域マネジメント専攻	専門職	10	4	6							10	4	6	10
	計	23	11 (2)	14 (4)	20	12 (3)	10 (4)	6	7	10	49	30 (5)	34 (8)	64 (13)	
合計			228	189 (17)	57 (14)	225	195 (19)	52 (22)	14	15 (1)	12	467	399 (37)	121 (36)	520 (73)

( ) 内は、外国人留学生(正規留学生)数を内数で示す。

○教育学部附属学校の定員・児童生徒数 令和5年5月1日現在

学校種別	学級区分 学級種別	1学年		2学年		3学年		4学年		5学年		6学年		合計	
		定員	現員	定員	現員	定員	現員	定員	現員	定員	現員	定員	現員	定員	現員
附属小学校	単式学級	60	59	60	59	60	57	60	57	90	60	90	84	420	376
附属小学校	複式学級	16	16			16	16			16	16			48	48
附属中学校	単式学級	140	140	140	140	140	140							420	420
附属特別支援学校	小学部	低学年(1・2年)		6	5	中学年(3・4年)		6	5	高学年(5・6年)		6	5	18	15
	中学部	6	4	6	5	6	5							18	14
	高等部	8	10	8	10	8	9							24	29
合計													948	902	

## 卒業生・修了者数

### 令和4年度

区分		課程・学科・専攻	男	女	計	累計	
学部	教育学部	学校教育教員養成課程	88	79	167		
		小計	88	79	167	15,524	
	経済学部	経済学科	216 (3)	102 (3)	318 (6)		
		ビジネスマネジメント学科	1		1		
		小計	217 (3)	102 (3)	319 (6)	21,233	
	システム工学部	システム工学科	247 (2)	65 (4)	312 (6)		
		小計	247 (2)	65 (4)	312 (6)	7,120	
	観光学部	観光学科	32	72 (1)	104 (1)		
		観光経営学科	1		1		
		小計	33	72 (1)	105 (1)	1,444	
計			585 (5)	318 (8)	903 (13)	45,321	
大学院	教育学研究科	教職開発専攻(専門職学位課程)	8	10	18		
		小計	8	10	18	1,095	
	経済学研究科	経済学専攻	11 (9)	25 (20)	36 (29)		
		経営学専攻	1		1		
		市場環境学専攻	1		1		
		小計	13 (9)	25 (20)	38 (29)	1,081	
	システム工学研究科	システム工学専攻(博士前期課程)	115 (3)	21 (1)	136 (4)		
		システム工学専攻(博士後期課程)	7	1	8		
		小計	122 (3)	22 (1)	144 (4)	2,903	
	観光学研究科	観光学専攻(博士前期課程)	5	6 (2)	11 (2)		
		観光学専攻(博士後期課程)	7 (1)	2	9 (1)		
		小計	12 (1)	8 (2)	20 (3)	132	
	計			155 (13)	65 (23)	220 (36)	5,211
	合計			740 (18)	383 (31)	1,123 (49)	50,532

1. ( )内は、外国人留学生(正規留学生)数を内数で示す。
2. 前期卒業生・修了者を含む。
3. 累計は、設置時からの卒業生・修了者数を示す。
4. 卒業生・修了者の定義は、学校基本調査に準拠する。

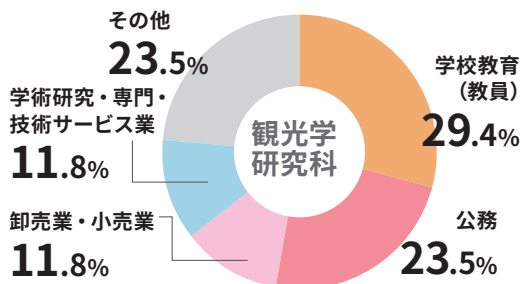
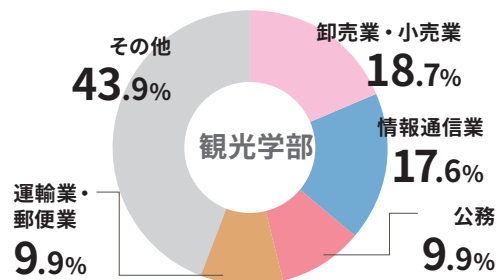
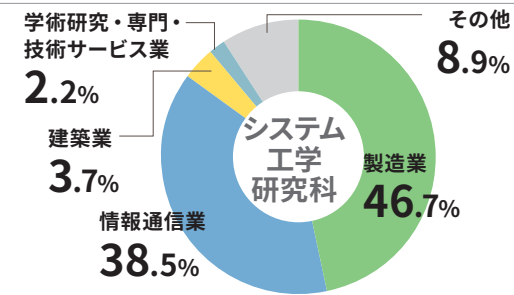
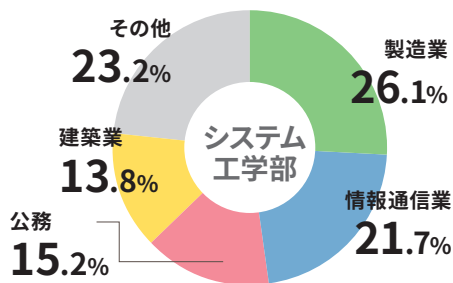
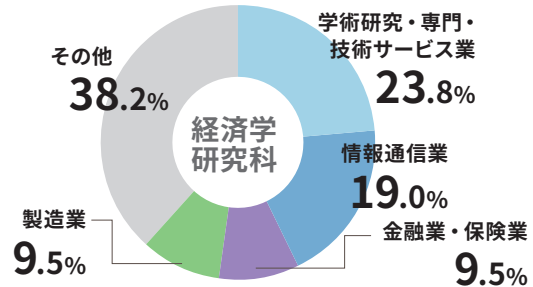
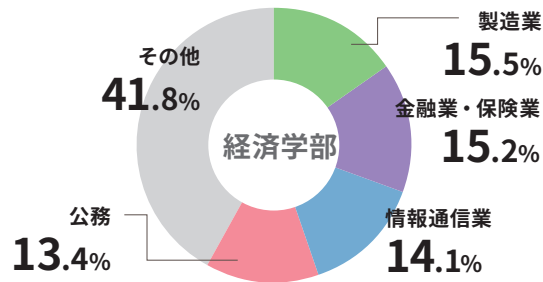
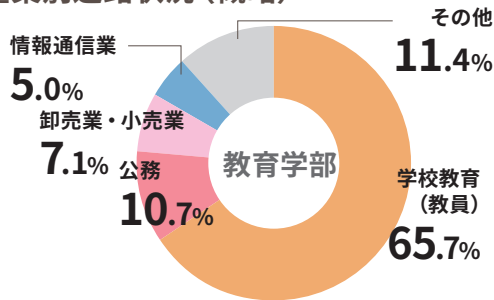
## 令和4年度卒業・修了者進路状況

○進路状況 令和5年5月1日現在

設置区分	学部・研究科	卒業・修了者数	進学者数	就職者数	その他	進学率	就職率
学部	教育学部	167	20	145	2	12.0	98.6
	経済学部	319	10	295	14	3.1	95.5
	システム工学部	312	165	138	9	52.9	93.9
	観光学部	105	6	94	5	5.7	94.9
	計	903	201	672	30	22.3	95.7
大学院	教育学研究科	18		18			100.0
	経済学研究科	38	1	23	14	2.6	62.2
	システム工学研究科	144	5	135	4	3.5	97.1
	観光学研究科	20	2	17	1	10.0	94.4
	計	220	8	193	19	3.6	91.0

※就職者には、一時的な仕事に就いたものを含む。

### ○産業別進路状況(概略)



## ○産業別就職状況(詳細)

産業名	学部					大学院				
	教育学部	経済学部	システム工学部	観光学部	計	教育学研究科	経済学研究科	システム工学研究科	観光学研究科	計
農業・林業		1			1					
漁業										
鉱業・採石業・砂利採取業										
建設業		9	19	1	29			5		5
製造業	2	45	36	9	92		2	63		65
電気・ガス・熱供給・水道業	1	1			2					
情報通信業	7	41	30	16	94		4	52	1	57
運輸業・郵便業	1	9		9	19		1	1		2
卸売業・小売業	10	37	9	17	73		1	2	2	5
金融業・保険業	2	44		2	48		2			2
不動産業・物品賃貸業	1	10	1	3	15			2		2
学術研究・専門・技術サービス業	1	13	8		22		5	3	2	10
宿泊業・飲食サービス業	2	4		6	12				1	1
生活関連サービス業・娯楽業	1	3		5	9		1			1
教育・学生支援業	学校教育	92 (92)	1 (0)		93 (92)	18 (18)		2 (2)	5 (5)	25 (25)
	学校教育以外の教育・学生支援業	2	5		8		2			2
医療・福祉	3	4		2	9					
複合サービス業		2	1	4	7					
サービス業(上記以外)		21	11	5	37		3	3	2	8
公務	15	39	21	9	84			1	4	5
その他		2	1	2	5			1		1
合計	140	290	138	91	659	18	21	135	17	191

※就職の定義は、学校基本調査に準拠する。

※( )内は、教員就職者を内数で示す。

# 国際交流・地域連携

## 学部別留学生数 令和5年5月1日現在

区分	学部・学環					大学院					合計
	一般学生	研究生	科目等履修生	特別聴講生	計	一般学生	研究生	科目等履修生	特別聴講生	計	
日本語・日本文化研究			9		9						9
教育学部・研究科				16	16						16
経済学部・研究科	18	1		2	21	50				50	71
システム工学部・研究科	14				14	10	2		2	14	28
観光学部・研究科	7				7	13				13	20
社会インフォマティクス学環											
計	39	1	9	18	67	73	2		2	77	144

各数値は、正規留学生および非正規留学生の合計を表す。(以下、同じ)

## 国別留学生数 令和5年5月1日現在

出身地域・国		教育学部		経済学部		システム工学部		観光学部		日本語・日本文化研究	計
地域名	国名	学部	研究科	学部	研究科	学部	研究科	学部	研究科		
アジア	中国	11		8	47	2	11		9	1	89
	台湾			1	2						3
	韓国	1		2		1		1			5
	モンゴル			4		2					6
	ベトナム	2		1		1	2		1	1	8
	インドネシア				1			1		1	3
	マレーシア			4		8		5	1		18
	タイ						1				1
	インド									2	2
	スリランカ									1	1
中東	トルコ									1	1
	イスラエル								1		1
ヨーロッパ	フランス	2									2
	ウズベキスタン									1	1
南米	ブラジル									1	1
オセアニア	ソロモン								1		1
アフリカ	ジンバブエ			1							1
計		16		21	50	14	14	7	13	9	144

## 短期留学推進制度による派遣留学生数 令和4年度

派遣先			教育学部		経済学部		システム工学部		観光学部	
地域名	国名	大学名	学部	研究科	学部	研究科	学部	研究科	学部	研究科
オセアニア	オーストラリア	カーティン大学							1	
北米	米国	ブリッジウォーター州立大学							1	
ヨーロッパ	英国	セントラル・ランカシャー大学							1	1
計									3	1

## 交流協定大学 令和5年10月1日現在

地域	国名	大学名	締結年月日
アジア	インドネシア	ガジヤマダ大学	2014. 1.16
		ピナ・ヌサンタラ (ピヌス) 大学	2017. 4.17
	タイ	カセサート大学	2013.12. 9
		テープサトリ・ラチャパット大学	2022. 5. 6
	韓国	慶北大学校	2001.12.10
		公州大学校	2022.11.14
	中国	浙江師範大学	1998.12.16
		山東師範大学	1998.12. 2
		山東大学	2000. 2.10
		吉林大学	2003. 6.30
		東北財経大学	2005. 3. 7
		首都師範大学	2005.11. 9
		華東師範大学体育健康学部	2007.12.11
		山東財経大学	2016. 9.28
		東北大学	2017. 3.20
		西安交通大学	2018. 4. 4
		鄭州大学	2018. 9. 7
	福建師範大学	2019. 9.17	
	フィリピン	フィリピン国立大学	2016. 3. 7
	ベトナム	ホーチミン師範大学	2007. 3.26
		ハノイ国家教育大学	2015. 3.18
		ハノイ貿易大学	2022. 3.17
		ダナン工科大学	2017.12. 1
フェニカ大学		2023. 2.15	
ドンア大学		2023. 2.13	
ハノイ大学		2023. 2.15	
ベトナム外交学院大学	2023. 2.14		
モンゴル	モンゴルコーセン技術カレッジ	2023.9.18	
ラオス	ラオス国立大学	2015. 3. 5	
オセアニア	オーストラリア	カーティン大学	1993. 3.18
		デイキン大学	1999.10.21



地域	国名	大学名	締結年月日
北米	米国	西フロリダ大学	1999.10. 6
		ウイスコンシン大学ミルウォーキー校	1999.11. 3
		ブリッジウォーター州立大学	2005.10.21
		サンフランシスコ州立大学	2023. 4.18
中南米	グアテマラ	サンカルロス大学	1989. 3.30
	ブラジル	グランデ・ドラードス大学	2017. 4.24
ヨーロッパ	ウズベキスタン	ブハラ国立大学	2018. 4.16
		ウズベキスタン国立世界言語大学	2020. 2.18
		タシケント国立経済大学	2020. 2.19
		東洋学大学	2022.10.17
		タシケント建築土木大学	2020. 4.30
		ウズベキスタン世界経済外交大学	2020. 8. 5
		シルクロード国際観光大学	2020.12.16
		シンガポール経営開発研究所タシケント校	2020.12.24
	英国	セントラル・ランカシャー大学	2016. 2.29
	カザフスタン	カザフ国際関係外国語大学	2016. 6.10
	クロアチア	オシエク大学	2018. 4.17
	スペイン	サラゴサ大学	2005.12.23
		サンティアゴ・デ・コンポステーラ大学	2015. 6.30
	セルビア	クラグイェヴァツ大学	2022. 7.19
	フランス	トロワ工科大学	1999.11.23
		コンピエーニュ工科大学	1999.11.23
		ベルフォール・モンベリヤール工科大学	1999.11.23
		パリ大学	2008. 1.21
		オーデンシア・ビジネススクール	2010. 8.23
ボスニア・ヘルツェゴビナ	東サラエボ大学	2022. 9.14	
ロシア	ペルミ国立大学	2021. 3.31	



## 自治体との連携協定 令和5年12月4日現在

締結年月日	連携協定名	協定相手
2003.2.5	和歌山県と和歌山大学との連携・協力に関する覚書	和歌山県
2003.8.6	和歌山大学・岸和田市地域連携推進協定書	岸和田市(大阪府)
2005.4.1	防災事業に関する覚書	和歌山県
2007.5.7	長野県飯田市と国立大学法人和歌山大学との友好交流協定書	飯田市(長野県)
2007.5.7	長野県飯田市と国立大学法人和歌山大学との研修等に関する覚書	飯田市(長野県)
2008.4.22	和歌山県における観光振興に向けた相互連携協定書	和歌山県
2008.5.14	橋本市との和歌山大学との連携協力に関する包括協定書	橋本市(和歌山県)
2010.2.19	和歌山市・和歌山大学地域連携推進協定書	和歌山市(和歌山県)
2013.8.1	連携協力に関する協定書	九度山町(和歌山県)
2015.3.24	和歌山大学と大阪府教育委員会との連携に関する協定書	大阪府
2015.9.24	和歌山市・和歌山大学・和歌山商工会議所 地域産業振興連携協定書	和歌山市(和歌山県)
2016.4.1	連携協力に関する覚書	九度山町(和歌山県)
2016.5.23	紀美野町・和歌山大学地域連携推進協定書	紀美野町(和歌山県)
2016.6.1	田辺市と国立大学法人和歌山大学との連携協力に関する包括協定書	田辺市(和歌山県)
2017.3.24	上富田町・和歌山大学地域連携包括協定書	上富田町(和歌山県)
2018.3.20	国立大学法人和歌山大学と和歌山県教育委員会との連携協力に関する協定書の締結について	和歌山県
2018.5.28	国立大学法人和歌山大学と和歌山市との津波発生時における一時避難場所としての使用に関する協定書に基づく運用に関する覚書	和歌山市(和歌山県)
2020.3.26	堺市教育委員会と和歌山大学との包括連携協力に関する協定書	堺市(大阪府)
2020.8.19	和歌山大学と阪南市との連携協力に関する協定書	阪南市(大阪府)
2021.6.28	和歌山大学と岬町との連携協力に関する協定書	岬町(大阪府)
2021.8.2	都市産業の振興における和歌山市・わかやま農業協同組合・国立大学法人和歌山大学との包括連携に関する協定書	和歌山市(和歌山県)
2022.7.15	貝塚市と和歌山大学との連携協力に関する包括協定書	貝塚市(大阪府)
2023.1.19	串本町と和歌山大学との連携協力に関する包括協定書	串本町(和歌山県)
2023.2.1	和歌山県広域受援計画における広域防災拠点に係る覚書	和歌山県
2023.2.24	印南町と和歌山大学との連携協力に関する包括協定書	印南町(和歌山県)
2023.8.17	与論町と和歌山大学との連携協定に関する包括協定書	与論町(鹿児島県)
2023.11.21	かつらぎ町と国立大学法人和歌山大学との包括連携に関する協定書	かつらぎ町(和歌山県)
2023.11.27	岡山県真庭市と和歌山大学との研究連携・協力に関する包括協定書	真庭市(岡山県)
2023.12.4	有田川町と和歌山大学との連携協力に関する包括協定書	有田川町(和歌山県)

# キャンパス・教育研究施設

## キャンパスマップ

### ○栄谷団地



○西高松団地 (松下会館)



○サテライト

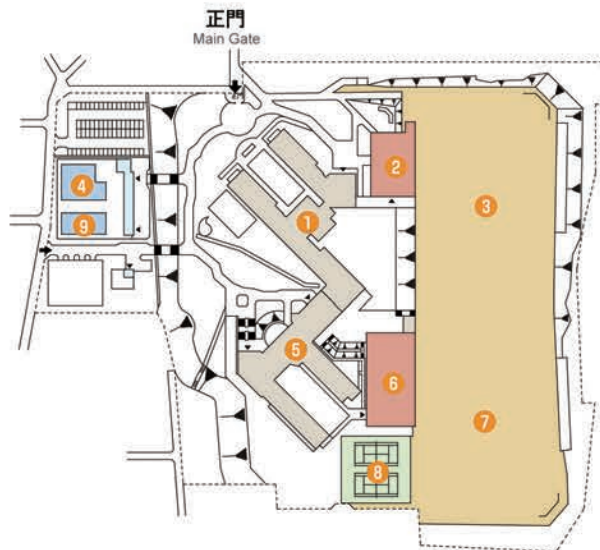
南紀熊野サテライト  
Nanki Kumano Satellite



岸和田サテライト  
Kishiwada Satellite

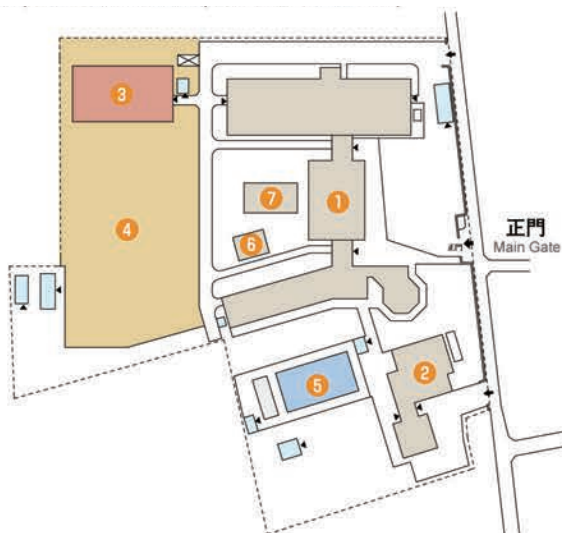


○吹上団地 (附属小学校・中学校)



1. 附属小学校  
Attached Primary School
2. 体育館(小学校)  
Gymnasium(Primary School)
3. 運動場(小学校)  
Playground(Primary School)
4. プール(小学校)  
Swimming Pool(Primary School)
5. 附属中学校  
Attached Junior High School
6. 体育館(中学校)  
Gymnasium(Junior High School)
7. 運動場(中学校)  
Playground(Junior High School)
8. テニスコート(中学校)  
Tennis Courts(Junior High School)
9. プール(中学校)  
Swimming Pool(Junior High School)

○西小二里団地 (附属特別支援学校)



1. 附属特別支援学校  
Attached School for Special Needs Education
2. 日常生活学習棟  
Living Skills Training House
3. 体育館  
Gymnasium
4. 運動場  
Playground
5. プール  
Swimming Pool
6. 作業実習室  
Job Practice Room
7. 金工・木工室  
Metal and Wood Workshop

## ■ 体育施設

### ○屋内体育施設

体育館 (柔道場、剣道場、アリーナ、卓球場)	1
トレーニングルーム	1

### ○屋外体育施設

弓道場	1
テニスコート	10面
球技コート	4面
陸上競技場	1
小運動場	1
多目的グラウンド	1
多目的広場	1
プール	1

## ■ 課外活動施設

施設名	戸数等
課外活動施設Ⅰ	31 (主に部室 29団体が利用)
課外活動施設Ⅱ	9 (自治会室・部室等と合宿研修施設)
課外活動施設Ⅲ	8 (文化系クラブ練習室)
課外活動施設Ⅳ	3 (部室 3団体が利用)
課外活動施設Ⅴ	1 (部室 1団体が利用)
課外活動施設Ⅵ	1 (物品倉庫)
大学会館 2F	9 (文化系クラブ練習室)

## ■ 休息のとれる施設など

施設名	
大学会館	第一食堂
	テイクアウトショップ
	生協購買店
	ラウンジ
ふれあい会館	GENKI食堂
	フルール
北1号館 (システム工学部)	リフレッシュラウンジ (3～8階)
北3号館 (システム工学部)	リフレッシュラウンジ (1～6階)
西3号館 (経済学部)	ラウンジ (1階)
	コミュニケーションスクエア (1階)
	キャンパススクエア (1階)
西4号館 (観光学部)	多目的スペース
西5号館 (図書館)	ニューヤマザキデイリーストア
東1号館	キャンパススクエアインターナショナル (1階)
東3号館 (教育学部)	ラウンジ (中央棟1階)
	コミュニケーションスクエア (中央棟1階)
	キャンパススクエア (中央棟1階)
	コミュニケーションルーム (南棟2～4階、北棟4・5階)

■ 土地・建物 単位：㎡ 令和5年5月1日現在

区分	土地	建物	詳細区分	建物
栄谷団地	414,588	86,923	東1号館	4,699
			東2号館	1,351
			東3号館	10,814
			東4号館	539
			東5号館	2,080
			西1号館	1,125
			西2号館	3,090
			西3号館	4,087
			西4号館	1,793
			西5号館	12,398
			南1号館	3,766
			北1号館	13,754
			北2号館	4,423
			北3号館	9,049
			北4号館	1,150
			大学会館	2,632
			ふれあい会館	574
			体育館	2,814
			弓道場	188
			課外活動施設Ⅰ	801
			課外活動施設Ⅱ	612
			課外活動施設Ⅲ	312
			課外活動施設Ⅳ	99
課外活動施設Ⅴ	16			
課外活動施設Ⅵ	83			
学生寮男子	2,208			
学生寮女子	996			
栄谷会館	436			
その他	1,034			
西高松団地	5,000	2,366	松下会館	1,686
			国際交流会館	680
吹上団地	64,696	16,062	附属小学校・附属中学校	16,062
西小二里団地	12,141	3,793	附属特別支援学校	3,793
その他	(371)	277	艇庫	277
職員宿舎	4,439	2,636	西高松宿舎	2,636
合計	500,864	112,057		112,057

( ) 内の数値は借地を表す。

# 授業料・入学料等

## 授業料・入学料・検定料

	授業料	入学料	検定料
学部	年額 535,800円	282,000円	17,000円
大学院	年額 535,800円	282,000円	30,000円

## 学生寮、下宿等の費用

### ○学生寮

寄宿料：月額 4,300円 ※光熱水料、インターネット使用料等が別途必要となります。

### ○下宿・アパート

大学周辺の平均的な家賃は 35,000円～45,000円程度。

# 学生の修学及び生活支援

令和2年4月1日より、文部科学省による高等教育の修学支援新制度が始まり、本学は文部科学省より令和元年9月20日大学等における修学支援に関する法律(令和元年法律第8号)による修学支援の対象機関となる大学として確認いただいております。このことにより、高等教育の修学支援新制度による奨学金がプラスされた入学料・授業料免除を実施します。

### ●日本学生支援機構給付奨学金 (入学料・授業料免除制度)

入学料・授業料免除と給付奨学金を併せて受けることができる制度です。経済的な理由で、学び続けることをあきらめずすむよう2つの支援で学びをサポートします。

区分	給付奨学金(月額)		授業料免除(年額)	
	自宅通学	自宅外通学	減免額	支払額
第Ⅰ区分 (満額支援)	29,200円 (33,300円)	66,700円	535,800円	0円
第Ⅱ区分 (2/3支援)	19,500円 (22,200円)	44,500円	357,200円	178,600円
第Ⅲ区分 (1/3支援)	9,800円 (11,100円)	22,300円	178,600円	357,200円

※生活保護を受けている生計維持者と同居している人及び進学後も児童養護施設から通学する人は、カッコ内の金額となります。 ※学業基準と家計基準の両方を満たす必要があります。  
※家計状況により年度途中で区分の変更や制度に該当しなくなる場合があります。 ※この制度は、私費外国人留学生、大学院生は対象外となります。

## ●その他の奨学金制度

### ●日本学生支援機構貸与奨学金

無利子の第一種、有利子の第二種があり、併用も可能です。


### ●和歌山大学独自の奨学金制度

[家計急変奨学金]学費負担者の失職、破産、倒産、病気、死亡もしくは地震・風水害の被害等の理由により、修学の継続困難となった学生への救済措置として設けられた貸与型の奨学金です。

### ●地方公共団体等の奨学金

地方公共団体や各種団体等が扱っている育英奨学金制度があります。

詳細は、  
学生センターホームページ  
(授業料/経済援助ページ)  
をご覧ください。  
<https://www.wakayama-u.ac.jp/scenter/fee/>



## ●その他のサポート制度

### ●傷害保険制度 [学生教育研究災害傷害保険(学研災)]

学研災は、学生が通学中や大学の教育研究中および課外活動等中に被った不慮の事故による傷害に対し、救済措置として設けられたものです。

### ●留学生支援 [奨学金]

外国人留学生向けの奨学金としては、次のようなものがあります。  
■文部科学省外国人留学生学習奨励費 ■民間奨学団体奨学金 等

## ■ 教育サポートシステム

大学生活において必要な情報を管理しているwebシステムのことです。インターネットが利用できる学内・学外のコンピューターを使って、時間割の確認、履修登録・修正、成績の閲覧、休講や教室変更の確認、学生呼出しの確認、スケジュールの管理などができます。

## ■ 図書館

### ○図書冊数 令和5年3月31日現在

区分	冊数
和書	500,170
洋書	198,670
計	698,840

### ○電子ブックタイトル数 令和5年3月31日現在

区分	タイトル数
国内	1,669
国外	2,816
計	4,485

### ○雑誌タイトル数 令和5年3月31日現在

区分	タイトル数
和雑誌	4,909 ( 760 )
洋雑誌	2,288 ( 24 )
計	7,197 ( 784 )

### ○電子ジャーナルタイトル数 令和5年3月31日現在

区分	タイトル数
国内	41
国外	1,658
計	1,699

( ) 内は現在の受入タイトル数

### ○年度別利用状況

区分	平成30年度 2018	令和元年度 2019	令和2年度 2020	令和3年度 2021	令和4年度 2022
入館者数	280,559	270,322	26,127	146,522	188,647
貸出冊数 (うち学生) 【うち一般市民等】	38,108 (30,776) 【1,939】	41,842 (33,467) 【2,582】	20,312 (14,571) 【820】	30,520 (23,393) 【1,286】	26,039 (20,667) 【1,035】



## ■ キャリア教育・就職支援体制

和歌山大学では、学生が希望の進路を実現できるように充実した就職サポート体制を整えています。

キャリアセンターは、全学の学生を対象にしたキャリア支援事業や、求人検索サイト「キャリアタス UC」 サイト管理、学内での「合同企業説明会」の開催、インターンシップなどの計画・実施、海外からの留学生向けの就職での相談対応や情報提供をする本部のほか、各学部でも学生一人ひとりのニーズにあわせた相談対応等を行っています。

## ■ 障害学生支援

和歌山大学では、障害により修学上何らかの支援や配慮が必要な学生の相談に応じ、障害学生支援室が各学部・学環・研究科や学内外の関連機関等と連携しつつ、学生の必要に応じた修学のための適切な環境づくりに努めています。

## ■ 各種支援窓口

支援分類	支援部類	窓 口	
修学	学籍異動(休学・退学等)について	学生センター(教育推進係)	
	受講登録・履修について 成績・単位について	学生センター(所属の学部係)	教育学部係 経済学部係 システム工学部・ 社会インフォマティクス学環係 観光学部係
	その他	オフィスアワー(教員個別相談)	
生活支援・課外活動	住居(学生寮等)について	学生センター(学生支援課)	
	奨学金・授業料免除について		
	アルバイトについて		
	事件・事故について		
	保険の加入・請求等について		
	落とし物・忘れ物について		
	課外活動について		
疾病・けが等の相談について	キャンパスライフ・健康支援センター	健康支援部門	
メンタルに関する相談について	キャンパスライフ・健康支援センター	キャンパスライフ支援部門 学生相談室	
障害のある学生の配慮や支援に関する相談について		キャンパスライフ支援部門 障害学生支援室	
進路・就職	就職・進路について	社会インフォマティクス学環	キャリアセンター本部
		教職大学院	教職キャリア支援室
		経済学部	経済学部キャリア支援室
		システム工学部	システム工学部キャリア支援室
		観光学部	観光学部キャリア支援室
インターンシップについて	キャリアセンター本部		
ハラスメント	ハラスメントについて	各学部・事務局の担当教職員	
SOGI・男女共同参画	性や性別について	インクルージョン支援推進室	
	学業と仕事や育児について	男女共同参画推進室	
留学・留学生支援	海外留学について	国際交流課留学生支援係	
	留学生の修学・生活について	(日本学教育研究センター)	
起業・知財	起業支援について	アントレプレナーシップデザインセンター	
	知的財産について	産学連携イノベーションセンター	
その他	学生の修学・生活上の困りごとについて	キャンパスライフ・健康支援センター	キャンパスライフ支援部門 学生相談室

# 財政

## 令和4年度 貸借対照表 単位：百万円

○資産			○負債・純資産		
固定	有形	26,176	負債	固定	195
	無形	116		流動	1,921
	その他	0		計	2,116
	計	26,292		資本	資本金
流動	現金・預金	2,232	資本剰余金		△5,270
	その他	82	利益剰余金		4,751
	計	2,314	計		26,490
計	28,606	計	28,606		

## 令和4年度 損益計算書 単位：百万円

経常費用	7,048	経常収益	7,298
臨時損失	13	臨時利益	4,115
当期総利益	4,439	目的積立金取崩額	86
計	11,499	計	11,499

## 令和4年度 キャッシュ・フロー計算書 単位：百万円

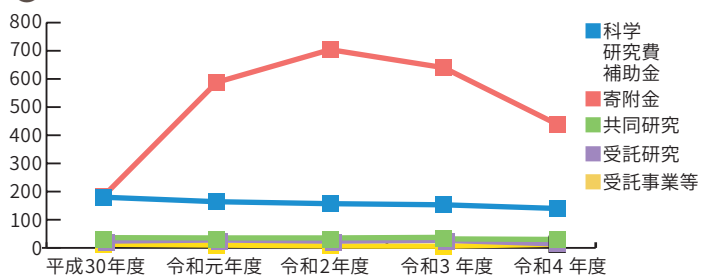
業務活動	支出	△6,271
	収入	6,850
	計	579
投資活動	支出	△1,164
	収入	1,024
	計	△141
財務活動	支出	△86
	収入	0
	計	△86
資金増加額	353	
資金期首残高	1,679	
資金期末残高	2,032	

本ページ内容の金額の端数処理は、各項目ごとに百万円未満の四捨五入を行っているため、合計額と合致しないことがあります。

## 令和4年度 外部資金受入状況

区分	件数	金額(百万円)
科学研究費補助金	140	128
寄附金	439	80
共同研究	30	43
受託研究	14	62
受託事業等	13	12
計	636	325

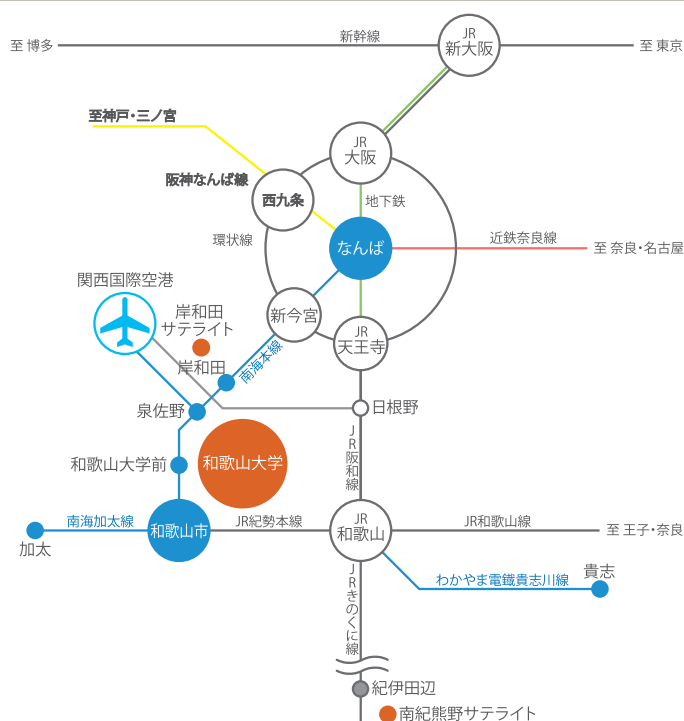
○過去5年間の推移(件数)



## ■ 部局等所在地

名称	郵便番号	所在地	電話番号
教育学部	640-8510	和歌山市栄谷 930	(073)-457-7206
附属小学校	640-8137	和歌山市吹上1丁目 4-1	(073)-422-6105
附属中学校	640-8137	和歌山市吹上1丁目 4-1	(073)-422-3093
附属特別支援学校	641-0031	和歌山市西小二里2丁目 5-18	(073)-444-1080
経済学部	640-8510	和歌山市栄谷 930	(073)-457-7607
システム工学部	640-8510	和歌山市栄谷 930	(073)-457-8005
観光学部	640-8510	和歌山市栄谷 930	(073)-457-8547
社会インフォマティクス学環	640-8510	和歌山市栄谷 930	(073)-457-8045
学術情報センター	640-8510	和歌山市栄谷 930	(073)-457-7177
図書館	640-8510	和歌山市栄谷 930	(073)-457-7905
紀伊半島価値共創基幹	640-8510	和歌山市栄谷 930	(073)-457-7127
食農総合研究教育センター	640-8510	和歌山市栄谷 930	(073)-457-7126
紀州経済史文化史研究所	640-8510	和歌山市栄谷 930	(073)-457-7891
教養教育部門「教養の森」	640-8510	和歌山市栄谷 930	(073)-457-7130
学生自主創造支援部門(クリエ)	640-8510	和歌山市栄谷 930	(073)-457-8504
キャンパスライフ・健康支援センター	640-8510	和歌山市栄谷 930	(073)-457-7965
キャリアセンター	640-8510	和歌山市栄谷 930	(073)-457-7935
アドミッション室	640-8510	和歌山市栄谷 930	(073)-457-7161
生涯学習・リカレント教育推進室	641-0051	和歌山市栄谷 930	(073)-427-7152
南紀熊野サテライト	646-0011	田辺市新庄町 3353-9 (Big・U内)	(0739)-23-3977
岸和田サテライト	596-0014	岸和田市港緑町 1-1 (浪切ホール内)	(072)-433-0875
産学連携イノベーションセンター	640-8510	和歌山市栄谷 930	(073)-457-7582
アントレプレナーシップデザインセンター	640-8510	和歌山市栄谷 930	(073)-457-7553
災害科学・レジリエンス共創センター	640-8510	和歌山市栄谷 930	(073)-457-7558
国際観光学研究センター	640-8510	和歌山市栄谷 930	(073)-457-7025
日本学教育研究センター	640-8510	和歌山市栄谷 930	(073)-457-7524
データ・インテリジェンス教育研究部門	640-8510	和歌山市栄谷 930	(073)-457-7195
広報室	640-8510	和歌山市栄谷 930	(073)-457-7010

## ■ 本学への交通案内



南海「和歌山大学前」駅から和歌山バスで約4分  
 南海「和歌山市」駅から和歌山バスで約20分  
 JR「和歌山」駅から和歌山バスで約30分



## 和歌山大学概要

Outline of Wakayama University

編集 和歌山大学企画課

発行 2023年12月

学びの特色や学生サポートなどについて詳しく知りたい方は大学案内をご覧ください。



大学案内 HP



和歌山大学 マスコットキャラクター  
わだにゃん